【表紙】

【提出書類】 内部統制報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の4第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2025年6月26日

【会社名】 ステラケミファ株式会社

【英訳名】 STELLA CHEMIFA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 橋本 亜希

【最高財務責任者の役職氏名】 該当事項はありません。

【本店の所在の場所】 大阪市中央区伏見町四丁目1番1号

【縦覧に供する場所】 ステラケミファ株式会社東京営業部
(東京都千代田区丸の内一丁目8番1号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 上記の当社東京営業部は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としています。

1 【財務報告に係る内部統制の基本的枠組みに関する事項】

代表取締役社長橋本亜希は、当社の財務報告に係る内部統制の整備および運用に責任を有しており、企業会計審議会の公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の改訂について（意見書）」に示されている内部統制の基本的枠組みに準拠して財務報告に係る内部統制を整備および運用しています。

なお、内部統制は、内部統制の各基本的要素が有機的に結びつき、一体となって機能することで、その目的を合理的な範囲で達成しようとするものです。このため、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止または発見することができない可能性があります。

2 【評価の範囲、基準日及び評価手続に関する事項】

財務報告に係る内部統制の評価は、当連結会計年度の末日である2025年3月31日を基準日として行われており、評価に当たっては、一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠しています。

本評価においては、連結ベースでの財務報告全体に重要な影響を及ぼす内部統制（全社的な内部統制）の評価を行った上で、その結果を踏まえて、評価対象とする業務プロセスを選定しています。当該業務プロセスの評価においては、選定された業務プロセスを分析した上で、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、当該統制上の要点について整備および運用状況を評価することによって、内部統制の有効性に関する評価を行っています。

財務報告に係る内部統制の評価の範囲は、当社ならびに連結子会社および持分法適用会社について、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性の観点から必要な範囲を決定しています。財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性は、財務報告に対する金額的および質的影響ならびにリスクの発生可能性を考慮して決定しており、当社および連結子会社3社を対象として行った全社的な内部統制の評価結果を踏まえ、業務プロセスに係る内部統制の評価範囲を合理的に決定しています。なお、連結子会社4社および持分法適用関連会社2社については、金額的および質的影響ならびにその発生可能性の観点から僅少であると判断し、全社的な内部統制の評価範囲に含めていません。

業務プロセスに係る内部統制の評価範囲については、売上高だけでは事業拠点の重要性を適切に判断できない可能性があることを考慮し、総資産および税引前当期純利益を追加的な指標として用いています。全社的な内部統制の評価結果は良好であると判断したため、各指標のおおむね3分の2程度を占める事業拠点を抽出し、事業内容等を総合的に勘案した結果、当社およびブルーエクスプレス株式会社を「重要な事業拠点」としました。選定した重要な事業拠点のうち、高純度薬品事業を行う当社においては、高純度薬品の製造および販売が主たる事業活動であることから、売上高、売掛金、棚卸資産および有形固定資産を企業の事業目的に大きく関わる勘定科目として、これらの勘定科目に至る業務プロセスを評価の対象としました。また、運輸事業を行うブルーエクスプレス株式会社においては、化学薬品等の輸送、保管および通関業務が主たる事業活動であることから売上高、売掛金および有形固定資産を企業の事業目的に大きく関わる勘定科目として、これらの勘定科目に至る業務プロセスを評価の対象としました。

さらに、選定した重要な事業拠点にかかわらず、それ以外の事業拠点を含めて検討した結果、見積りや予測を伴う重要な勘定科目に係る業務プロセスとして当社およびブルーエクスプレス株式会社の固定資産の減損プロセスおよび税金・税効果プロセスを、非経常プロセスとして当社の連結財務諸表作成プロセスを追加しました。

3 【評価結果に関する事項】

上記の評価の結果、当連結会計年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断しました。

4 【付記事項】

該当事項はありません。

5 【特記事項】

該当事項はありません。